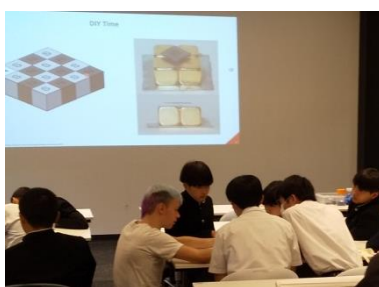


【沖縄科学技術大学院大学訪問（修学旅行）】

12月11日(水)に理系Sクラス(2年6組)が、修学旅行〔12月10日(火)～13日(金)〕の中で「沖縄科学技術大学院大学(OIST)」を訪問しました。OISTは2011年に設立された、5年一貫制博士課程の大学院大学で、50以上の国から研究者が集まり、先駆的かつ学際的な研究が行われており、SSH向けの「SEEDプログラム」も設けられています。今回の訪問での研究発表に向けて、生徒達はしっかりと準備を重ねてきました。当日はまず35名が課題研究の11班に分かれ、各班に1～2名の院生が割り当てられ、英語によるポスタープレゼン形式で発表しました。悪戦苦闘しながら何とかやり遂げ、その後のフィードバック(質疑・助言)と併せて、貴重な体験を得ることができました。次に物理専攻の院生を講師に、「浮揚」についての講義を受けました。実験で実際に物が浮く様子を見て、生徒達は驚きの声を上げていました。最後にキャンパスの豊かな自然の中にある施設を見学し、最先端の科学技術の研究の場を目の当たりにしました。この訪問・研修での実体験を通して、生徒達は探究活動への意欲を一段と高めることができました。



院生を前に英語でプレゼン



実際の浮揚の様子を観察



最後にキャンパスで全員集合